



レクチャー及び資料配布の場所・日時
 1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
 2. 国土交通記者会(資料配布)
 3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)
 日時：平成26年12月25日(14:00)

平成26年12月25日
 独立行政法人土木研究所

独立行政法人土木研究所『共同研究者の募集』について (平成26年度 第3回)

独立行政法人土木研究所では、平成26年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究(土研提案型：指定・公募型共同研究)

地すべりの地震時安定性に影響を及ぼす因子に関する共同研究 (別添-1)	平成26年度～ 平成28年度
担当：土砂管理研究グループ 地すべりチーム	
<p>共同研究の目的(必要性) 2011年東北地方太平洋沖地震での地すべり災害発生など、近年では地震による地すべり発生の事例が多く報告されている。地震動が地すべりに及ぼす影響については様々な要因が考えられ、地震時の安定解析手法にはいくつかのモデルが提案されている。 今後、南海海地震など大規模な地震の発生が危惧されている中、重要な保全対象に近接する斜面については、地震時の安定性を事前に評価し、予防的対策を実施しておくことが重要と考えられる。そのため、地すべりの地震時安定性に影響を及ぼす因子を明らかにし、地震時の地すべりの安定性を評価する手法の提案に繋げていく必要がある。 そこで、本研究では土木研究所がこれまでに収集・蓄積してきた既往の大規模地震時の地すべり変動計測データを活用して、地形・地質的特徴等と地震時の地すべりの挙動を分類した上で、地震時の地すべりの挙動を再現できる既往の解析モデルを実証検討する。また、解析で入力する地震動や地盤のパラメータの設定手法を検討しながら、必要に応じてモデルの改良を加え、地震時の地すべりの安定性に影響を及ぼす因子を明らかにする。</p> <p>共同研究の内容 ①地震動を受けた地すべり挙動の実態調査と分類 ②地震時の地すべり挙動に与える影響についての解析モデル検討 ③地震時の地すべり挙動の数値解析の適用性検討 ④地すべりの地震時安定性に影響を及ぼす因子の考察</p>	

2. 募集期間 **平成26年12月25日(木)から平成27年1月23日(金)17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	独立行政法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 大住 道生 主査 高橋 信行 電話 029-879-6751
研究内容について	独立行政法人土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム 上席研究員 石井 靖雄 主任研究員 三輪 賢志 電話 029-879-6787

1. 共同研究の名称

地すべりの地震時安定性に影響を及ぼす因子に関する共同研究

2. 共同研究の概要

<共同研究の目的>

2011年東北地方太平洋沖地震での地すべり災害発生など、近年では地震による地すべり発生の事例が数多く報告されている。地震動が地すべりに及ぼす影響については様々な要因が考えられ、地震時の安定解析手法にはいくつかのモデルが提案されている。

今後、東南海地震など大規模な地震の発生が危惧されている中、重要な保全対象に近接する斜面については、地震時の安定性を事前に評価し、予防的対策を実施しておくことが重要と考えられる。そのため、地すべりの地震時安定性に影響を及ぼす因子を明らかにし、地震時の地すべりの安定性を評価する手法の提案に繋げていく必要がある。

そこで、本研究では土木研究所がこれまでに収集・蓄積してきた既往の大規模地震時の地すべり変動計測データを活用して、地形・地質的特徴等と地震時の地すべりの挙動を分類した上で、地震時の地すべりの挙動を再現できる既往の解析モデルを実証検討する。また、解析で入力する地震動や地盤のパラメータの設定手法を検討しながら、必要に応じてモデルの改良を加え、地震時の地すべりの安定性に影響を及ぼす因子を明らかにする。

<共同研究の内容>

共同研究の内容（項目）

- (1) 地震動を受けた地すべり挙動の実態調査と分類
 - (1)-1文献・事例調査
 - (1)-2地質的特徴等による分類
- (2) 地震時の地すべり挙動に与える影響の解析モデル検討
 - (2)-1FEM要素モデルの検討
 - (2)-2構成則の検討
- (3) 地震時の地すべり挙動の数値解析の適用性検討
 - (3)-1地震動波形、物性値の調査手法の検討
 - (3)-2地震動波形、物性値の設定手法の検討
 - (3)-3 2次元有限要素法による地震時挙動の再現解析
 - (3)-4安定度評価指標の検討
- (4) 地すべりの地震時安定性に影響を及ぼす因子の考察
 - (4)-1感度分析による因子の考察

3. 実施期間 平成26年度～平成28年度

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担							
研究項目	研究細目	研究分担			年次計画		
		土研	指定機関	共同研究者	26年度	27年度	28年度
(1)地震動を受けた地すべり挙動の実態調査と分類	(1)-1文献・事例調査	◎	○	○	→		
	(1)-2地質的特徴等による分類	◎	○	○	→		
(2)解析モデル検討	(2)-1FEM要素モデルの検討	○	○	◎		→	
	(2)-2構成則の検討	○	○	◎		→	
(3)数値解析の適用性検討	(3)-1地震動波形、物性値の調査手法の検討	◎	○	◎		→	→
	(3)-2地震動波形、物性値の設定手法の検討	○	○	◎		→	→
	(3)-32次元有限要素法による地震時挙動の再現解析	○	○	◎		→	→
	(3)-4安定度評価指標の検討	◎	◎	○		→	→
(4)影響因子の考察	(4)-1感度分析による因子の考察	◎	◎	◎			→

※指定機関とは独立行政法人土木研究所共同研究規程に基づく手続きにより、本共同研究の相手方として承認され、本共同研究の実施について、承諾を受けた国立大学法人群馬大学である。

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

①参画条件

- ・地震と地すべり挙動についての調査・研究の経験を有すること
- ・地すべりの安定解析技術を有すること
- ・上記のすべてについて能力を有し、本研究のための適切な人員配置が可能でありかつ必要な費用を負担できること。
- ・以上の全ての条件を満たす事を証明する資料を提出できること。

②参加者数

3～5社程度を想定

③参加者の選定方法

書面審査及びヒアリングを行い選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者 土砂管理研究グループ 地すべりチーム
石井・三輪 (TEL : 029-879-6787)